

17 Goals
 カラーリボン
 キャンペーン
 特号

SDGs。
 日本からはじまる、



Hello Nippon!

© 2020 SEIBU SOGO

SEIBU SOGO “もらわない”生活で、 海を守り、森を育てる

プラスチック製だけでなく紙製の袋をも
 環境配慮素材に変更し、かつ有料化を実施。
 海を守るだけでなく、
 森を育てる活動を推進するという
 「西武・そごう」の先進的な取り組みとは。



買い物袋、有料化へ

かつて、森を守るために紙製を削減しようとして、一時的に変わったのがプラスチック製の袋。紙は木の繊維を原料としているので、生産するために自然の森がなくなり、動物の生息地を壊してしまうことを避けるためだった。再生紙もまた多くのエネルギーと製品が必要になるため、環境に優しいと華詞には言いにくい。今、海を守ろうとノープラスチックの推進が高まっているものの、紙袋の使用量が増えすぎては本末転倒。だから「西武・そごう」では、今年7月からのプラスチック製レジ袋有料化に伴い、紙袋も有料化。すべての買い物袋の使用量を削減し、森を育てることにつながれば、きっと積極的に生活行動を変えてくれるはず。顧客と一緒に、地球全体の環境を考えていくことを大切にしている。

社会貢献に参加できるような 仕組みづくりを

「西武・そごう」は長年、「植樹・育樹」関連の社会貢献活動として、国や地方自治体、NPOの3つの活動を通じて、社会貢献力を入れています。特に「植樹・育樹」は、買い物をするということによって、森林再生に地産地消に貢献できるという参加型の仕組みが特徴。今年7月から、すべての買い物袋を有料化することも「西武・そごう」独自の先進的な取り組みだ。顧客サービスに重視する意識的な百貨店にとって、紙袋も有料化するということは百貨店の判断となる。それでも、マイバッグを推奨するために決断した。実は「西武・そごう」では2009年から、認定NPO法人環境リレーション研究所が運営する「環境リレーション」に、買い物袋の経費1万枚ごとと苗木1本を寄付している。11年で植樹してきた全国10カ所の山は今では森と育ってきている。ほかにも、お中元・お歳暮ギフトで商品包装を削減することも寄付につながるし、プレゼントギフトを注文する際に寄付サービスの付いたリレーションギフトを贈ることも「リレーション」も実行している。これらの取り組みによって、北遊道平岩手、山梨、熊本を

ど全国の森づくりが必要な土地に、今年2月までに累計1万4669本の植樹を実施してきた。森林が再生するとCO2吸収だけでなく、生態系の保全や水質浄化、土砂災害防止などの効果も期待できる。樹を植えた後は、苗木が森として育つまで、地域の人が協働し、連携しながら森林の整備や維持管理をする。森を助ける人地域の人がつながることで、地域の賑わいもつながっている。

ほかにも10年以上前から、アフリカのザンビア共和国の子供たちから贈る贈り物という途上国支援にも取り組んできた。各店舗に「こども取っ取りコイン」を常設し、使ったお金の一部を「こども取っ取りコイン」を常設し、使ったお金の一部を「こども取っ取りコイン」に充て、子どもが教育や生活に必要とする。また16年前からは、植樹隊がいちいち直場大へのご理解を深める活動にも取り組んでいる。直場大をかたちとした大型募箱を全店に常設しており、定期的な募金活動を実施。さらに社内で「西武・そごう」西武基金」を設立し、従業員が任意で毎月100円から1万円まで募金として積み立てることができる。「ワンコイン募金部」という参加の形も、百貨店だからこその取り組みを、さまざまな形で実現している。

グリーンラッピング

「地球環境を考えた」というメッセージもあわせて贈ることができる社会貢献活動「グリーンラッピング」。ギフトのラッピング紙と紙の紙、リネンコート付きリボンを別途100円で購入すると、1冊につき50円が贈呈NPO法人環境リレーション研究所の活動に貢献する。資料請求「プレゼントフリー」へ寄付される。50枚の寄付が1本の贈呈につながる。



お中元・お歳暮 贈呈包装

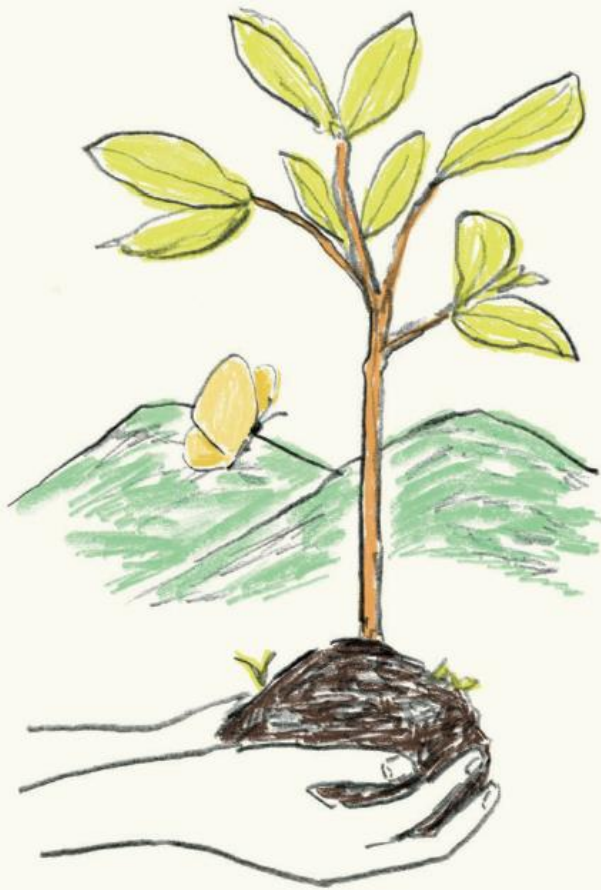
贈呈包装を贈りて贈ることを意識する「スマートラッピング」を推進することで、森林資源の保護とゴミの削減を実現。お中元・お歳暮ギフトで贈呈包装を贈ると、4000円につき贈呈1本の代金が「プレゼントフリー」へ寄付される。



買い物袋削減

毎日の生活の必需品であるプラスチック製の商品を削減し、環境にやさしい商品に置き換える。商品フロアでレジ袋を減らし、買い物袋を削減すると、1万枚につき贈呈1本の代金が「プレゼントフリー」へ寄付される。無料のレジ袋も、バイエスマスプラスチック30%削減を実現。





SEIBU SOGO

“もらわない”生活で、 海を守り、森を育てる

プラスチック製だけでなく紙製の袋をも
環境配慮素材に変更し、かつ有料化を実施。

海を守るだけでなく、
森を育てる活動を推進するという
「西武・そごう」の先進的な取り組みとは。

買い物袋、有料化へ

かつて、森を守るために紙袋を削減しようとして、一般的になったのがプラスチック製の袋。紙は木の繊維を原料としているので、生産するために自然の森がなくなり、動植物の生態系を壊してしまうことを避けるためだった。再生紙もまた多くのエネルギーと薬品が必要になるため、環境に優しいと単純には言えない。今、海を守ろうとノープラスチックの気運が高まっているものの、紙袋の使用量が増えてしまっは本末転倒。だから「西武・そごう」では、今年7月からのプラスチック製レジ袋有料化に伴い、紙袋も有料化。すべての買い物袋の使用量削減に努めていく。「袋をもらわない」というアクションが、海を守るだけでなく、森を育てることにつながれば、きっと積極的に生活行動を変えていけるはず。顧客と一緒に、地球全体の環境を考えていくことを大切にしている。

社会貢献に参加できるような 仕組みづくりを

「西武・そごう」では長年、「植樹・育樹」「途上国支援」「盲導犬育成支援」の3つの活動を通じて、社会貢献に力を入れてきた。特に「植樹・育樹」は、買い物をするることによって、森林再生と地域振興に貢献できるという参加型の仕組みが特徴的。今年7月から、すべての買い物袋を有料化することも「西武・そごう」独自の先進的な取り組みだ。顧客サービスを特に重視する業態の百貨店にとって、紙袋まで有料化するということは勇気のいる判断となる。それでもマイバッグを推奨するために決断した。実は「西武・そごう」では2009年から、「認定NPO法人環境リレーションズ研究所」が運営する「プレゼントツリー」に、買い物袋の辞退1万枚ごとに苗木1本分を寄付している。11年で植樹してきた全国10カ所の山は今では森に育ってきている。ほかにも、お中元・お歳暮ギフトで簡易包装を選択することも寄付につながるし、プレゼントギフトを注文する際に寄付サービスの付いたリーフマスコット付きリボンを選ぶ「グリーンラッピング」も行っている。これらの取り組みによって、北海道や岩手、山梨、熊本な

ど全国の森づくりが必要な土地に、今年2月までに累計1万4649本の植樹を実施してきた。森林が再生すると、CO₂吸収だけでなく、生態系の保全や水源涵養、土砂災害防止などの効果が期待できる。樹を植えた後は、苗木が森として育つまで、地域の人々と協働し、連携しながら森林の整備や維持管理をする。森を訪れる人と地域の人々が交流することで、地域の振興にもつながっていく。

ほかにも10年以上前から、アフリカのザンビア共和国の子どもたちへ靴を贈るという途上国支援にも取り組んできた。各店舗に「こども靴下取りコーナー」を常設し、使わなくなった靴1点ごとに、子ども服売場で使える割引券と交換する仕組みだ。集まった靴は、「公益財団法人ジョイセフ」を通じて、ザンビアへ届けられる。また16年前からは、視覚障がい者と盲導犬への理解を深める活動にも取り組んでいる。盲導犬をかたどった大型募金箱を全店に常設しており、定期的に募金活動を実施。さらに社内でも「そごう・西武基金」を設立し、従業員が任意で毎月の給与から自動引き落としで積み立てできる「ワン！コイン倶楽部」という参加の形も。百貨店だからこそできる取り組みを、さまざまな形で実現している。

ど全国の森づくりが必要な土地に、今年2月までに累計1万4649本の植樹を実施してきた。森林が再生すると、CO₂吸収だけでなく、生態系の保全や水源涵養、土砂災害防止などの効果が期待できる。樹を植えた後は、苗木が森として育つまで、地域の人々と協働し、連携しながら森林の整備や維持管理をする。森を訪れる人と地域の人々が交流することで、地域の振興にもつながっていく。

グリーンラッピング

「地球環境を考える」というメッセージもあわせて贈ることができる社会(環境)貢献参加型ラッピング。ギフトのラッピング注文の際、リーフマスコット付きリボンを税込み100円で購入すると、1件につき50円が認定NPO法人環境リレーションズ研究所の推進する植樹・育樹活動「プレゼントツリー」へ寄付される。80件の寄付が1本の植樹につながる。



お中元・お歳暮 簡易包装

用途や要望を踏まえて適正な包装を行う「スマートラッピング」を推奨することで、森林資源の保護とゴミの減量化を推進。お中元・お歳暮ギフトで簡易包装を選ぶと、4000件につき苗木1本分の代金が「プレゼントツリー」へ寄付される。



買い物袋辞退

海洋汚染の原因となるプラスチックゴミを減らすため、レジ袋の削減に努めている。食品フロアでレジ袋を含め、買い物袋を辞退すると、1万枚につき苗木1本分の代金が「プレゼントツリー」へ寄付される。有料のレジ袋も、バイオマスプラスチック30%配合に変更。

